

2018年6月30日

第14期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急ホームスタイリング

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	692,039	(負 債 の 部)	937,121
流 動 資 産	692,039	流 動 負 債	937,121
現 金 及 び 預 金	5,189	買 掛 金	134,294
売 掛 金	461,032	短 期 借 入 金	644,034
商 品	124,271	未 払 金	13,463
前 渡 金	88,015	未 払 費 用	1,266
前 払 費 用	2,826	未 払 事 業 所 税	300
そ の 他 の 資 産	10,217	未 払 法 人 税 等	120
仮 出 金	647	未 払 消 費 税 等	3,469
貸 倒 引 当 金	△160	前 受 金	129,527
		預 り 金	1,957
固 定 資 産	0	賞 与 引 当 金	5,237
有 形 固 定 資 産	0	役 員 賞 与 引 当 金	3,450
建 物 附 属 設 備	0		
器 具 及 び 備 品	0	(純 資 産 の 部)	△245,081
		株 主 資 本	△245,081
		資 本 金	10,000
		利 益 剰 余 金	△255,081
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△255,081
		繰 越 利 益 剰 余 金	△255,081
合 計	692,039	合 計	692,039

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商 品 個別法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金 売上債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金 役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。
ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

当期純損益金額

当期純損失 1,824千円